

連携・協働のカ・タ・チ

令和2年7月20日発行 福島県教育庁会津教育事務所



地域社会に貢献できる人材を育てる学校づくり (その2)

課題解決型の探究学習 ～ 県立大沼高等学校 ～

前号に続き、県立大沼高等学校の会津美里町を学びのフィールドとした「課題解決型の総合的な探究の時間の学習」の取組について紹介します。

《探究学習成果発表会 ～地域活性化のアイデア満載！～》



【地域課題の解決策を発表する生徒】

新型コロナウイルス感染拡大防止のための臨時休業により延期していた2学年の「探究学習成果発表会」を令和2年6月18日に行いました。会津美里町内でのフィールドワーク等を通して捉えた地域課題の解決策について、3学年の全生徒が15班に分かれて発表しました。会津美里町職員の方々にも参観していただきました。



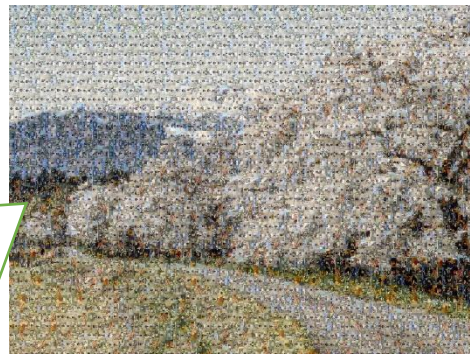
「町図書館とコラボした食のイベントを開催する」、「町民の笑顔の写真で大きなモザイクアートを作る」、「町内にある会津三十三観音などをカルタにして大会を開き、町おこしをする」などユニークなアイデアがたくさん披露されました。その中から二つのアイデアを紹介します。

←【生徒の発表を参観される会津美里町職員の方々】

町図書館主催の「図書館カフェ」に出品予定だった町のイメージキャラクター「あいづじげん」のクッキー
(新型コロナウイルス感染防止のため中止)



会津美里町をテーマにして町民の笑顔の写真で作ったモザイクアート(宮川沿いの桜並木)



【探究活動全般における生徒の感想から】

- 解決策を一生懸命考え、自分たちでまず動いてみるという力を身に付けることができた。
- 今まで自分から行動をあまりしなかったが、自ら動き貢献できるようになった。

【探究活動全般における教職員の感想から】

- 知識を受け身的に学ぶのではなく、自ら考え、まとめ、発表するという能動的・体験的な学習の経験は、進学先や就職先でも活かされることと思う。
- 生徒一人一人が探究活動に一生懸命に取り組んでいる姿を目にして、考えて行動できる力が身に付いてすごいと思った。



この実践から学ぶポイント！

地域を学びのフィールドにした課題解決型の探究学習により、生徒は、学びの手応えと自分の成長を実感しています。地域に貢献しようとする学校と学校を応援しようとする地域。相互の連携がしっかりとかみ合い、学校全体が目指すべき方向に進んでいます。